

製品名: RAC1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85963**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,FC 1:50-1:200
分子量	21.5kDa

抗原情報

遺伝子名	RAC1
別名	Ras-related C3 botulinum toxin substrate 1, Cell migration-inducing gene 5 protein, Ras-like protein TC25, p21-Rac1, RAC1, TC25
遺伝子 ID	5879.0
SwissProt ID	P63000
免疫原	この抗体は、ヒトのアミノ酸間の KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されません。

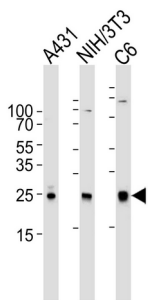
背景

活性な GTP 結合状態と不活性な GDP 結合状態の間を循環する、細胞膜関連の低分子 GTPase。活性状態では、さまざまなエフェクタータンパク質に結合して、分泌プロセス、アポトーシス細胞の貪食、上皮細胞の分極、増殖因子誘導性の膜波状構造の形成などの細胞応答を制御します。Rac1 p21/rho GDI ヘテロダイマーは、マクロファージの NADPH オキシダーゼ活性の刺激に関与する細胞質因子シグマ 1 の活性成分です。SPATA13 を介した細胞遊走および接着の組み立てと分解の制御に不可欠です。PKN2 キナーゼ活性を刺激します。RAB7A と協力して、破骨細胞における RB (波状境界) の形成を制御する役割を果たします。神経膠腫細胞では、細胞遊走と浸潤を促進します。ポドサイトにおいて、NR3C2 の核内輸送を促進する。この調節は腎機能の正常化に必須である。非定型ケモカイン受容体 ACKR2 誘導性の LIMK1-PAK1 依存性コフィリン (CFL1) リン酸化、およびエンドソーム区画から細胞膜への ACKR2 のアップレギュレーションに必須であり、ケモカインの取り込みと分解における ACKR2 の効率を高める。シナプスにおいて、SHANK3 による F アクチンクラスター形成の制御を媒介すると考えられる。

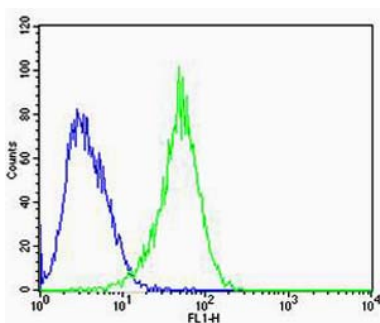
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

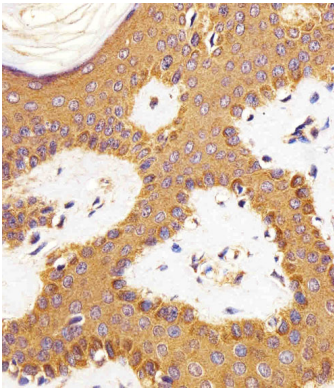
画像データ



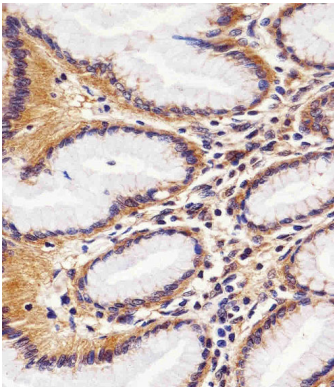
RAC1 抗体を用いた、A431、マウス NIH/3T3、ラット C6 細胞株 (左から右へ) のライセートのウェスタンブロット解析。RAC1 マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 35 μ g。



U-87 MG 細胞を RAC1 (緑、カタログ番号 AMM85963) とマウス IgG2b アイソタイプコントロール (青) を用いてフローサイトメトリー解析した。AP20600c は 1:100 に希釈した。二次抗体として Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG を 1:400 に希釈して使用した。



RAC1 (カタログ番号 AMM85963) を用いたパラフィン包埋 H.skin 切片の免疫組織化学染色。AMM85963 は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。



RAC1 (カタログ番号 AMM85963) を用いたパラフィン包埋胃切片の免疫組織化学染色。AMM85963 は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。